

第39回

The 39th Annual Meeting of Japanese Society of
Neurological Therapeutics

日本神経治療学会 学術集会



メディカルスタッフ

演題募集要項・プログラム

神経治療にかかわるメディカルスタッフ
から広く演題を募集します

極めよう、

神経疾患治療の
最前線

2021年

会期

10月28日(木)▶30日(土)

会長

富本 秀和 (三重大学大学院医学系研究科
神経病態内科学)

会場

三重県総合文化センター (津市)

副会長

猪原 匡史 (国立循環器病研究センター
脳神経内科)

神経疾患、とりわけ神経難病の治療は長い間、治療学の観点からは不毛の領域として扱われてきました。しかし、脊髄性筋萎縮症の治療薬の登場を嚆矢として、神経変性疾患の薬物療法にも新しい時代が訪れています。コモンディージーズの領域においては、てんかん、神経免疫疾患を初めとして矢継ぎ早に新薬が登場し、アルツハイマー病の疾患修飾薬も曙光がさす状況にあります。

活況を呈する神経治療の世界にあって、本学術集会は「極めよう、神経疾患治療の最前線」をテーマとし、変貌する神経治療の最前線に迫りたいと思います。メディカルスタッフの皆様からの多くの演題発表をいただき、また最新の情報を交換する機会としてぜひともご参加をお待ちしています。

プログラム概要

3月31日現在

メディカルスタッフ シンポジウム ～拡がる神経治療の世界

1. 「認知症の地域包括ケア」

座長 栗田 圭一（東京都健康長寿医療センター 研究部）

座長 新堂 晃大（三重大学病院 認知症センター）

2. 「老年神経疾患の転倒・転落

～転ばぬ先の杖を考える」

座長 饗場 郁子（国立病院機構 東名古屋病院 臨床研究部）

座長 内藤 寛（伊勢赤十字病院 脳神経内科）

3. 「神経疾患のリハビリテーション最前線」

座長 安保 雅博（東京慈恵会医科大学附属病院
リハビリテーション科）

座長 前島 伸一郎（金城大学 学長）

メディカルスタッフ・レクチャー

1. 神経内科医はハンマーで何を診ているのか？

神経疾患は正確な病歴聴取と神経診察で9割がたは診断できます。ハンマーに象徴される診察手技で正しい診断に至るプロセスをわかりやすく解説します。

座長 谷口 彰（三重大学脳神経内科）

2. パーキンソン病(PD)ナースに期待される役割

パーキンソン病では薬物療法に加えてデバイス補助療法が普及し、運動療法の重要性も指摘されています。今後、PDナースに期待される知識と役割を概説します。

演者 山本 澄子（福岡大学脳神経センター）

演者 藤岡 伸助（福岡大学医学部 脳神経内科）

3. One teamで支える神経難病

筋萎縮性側索硬化症(ALS)や多系統萎縮症(MSA)は治療やケアで悩むことの多い病気です。患者・家族を支えるチーム医療の望ましいあり方を解説します。

座長 成田 有吾（三重大学脳神経内科）

演者 荻野 美恵子（国際医療福祉大学医学部、脳神経内科学）

4. やさしい高次脳機能の診かた

一見とっつきにくい高次脳機能障害の診断ですが、認知症、脳卒中など脳神経疾患の診断治療には不可欠です。高次脳機能の考え方や診察の要点を概説します。

学術集会の主なプログラム

■ 特別講演 1 「神経グリア・ネットワーク」(仮)
Prof. Eng Lo (Harvard University)

■ 特別講演 2 「忍者の虚像と実像」(仮)
山田 雄司（三重大学人文学部）

■ 理事長講演 桑原 聡（千葉大学脳神経内科）

■ 会長講演 富本 秀和（三重大学脳神経内科）

■ 委員会企画

1. 「地域医療から学び地域医療に活かす神経治療学」
2. 「ASENT JSNT Joint symposium」
3. 「PMDA joint symposium」
4. 「臨床研究デザイン・創薬推進シンポジウム」

教育講演 8セッション予定（タイトル仮）

1. 「遺伝性筋疾患のトランスレーショナルリサーチ」
2. 「遺伝性脳小血管病」
3. 「アルツハイマー病の診断と治療戦略」
4. 「Gradeシステムの理解と運用について」
5. 「脳梗塞の再発予防；脳卒中ガイドライン2021」
6. 「免疫介在性ニューロパチーの病態と治療」
7. 「HAMの病態と治療」
8. 「二次性進行型MSの病態と治療」

参加登録方法

2021年9月開始(予定)

オンラインによる事前参加登録を行います。

本学術集会の開催形式は不確定ですが、2021年3月時点ではハイブリット開催を予定しています。オンラインによる参加、視聴も予定しております。

参加登録費

参加区分	参加費
メディカルスタッフ	¥5,000
一般(会員)	¥15,000
一般(非会員)	¥17,000
大学院生	¥5,000
医学部学生・初期研修医	無 料

下記学会員の方は本学会への参加でポイントが付与されます。
手続き方法など詳細は本学術集会ホームページ、各協会・学会の規定を参照してください。

日本理学療法士協会

本学会への参加で生涯ポイントが付与されます。

学会参加……………10ポイント

指定演題の筆頭演者……………10ポイント

一般演題の筆頭演者……………5ポイント

日本作業療法士協会

本学会への参加で一般社団法人日本作業療法士協会の生涯教育制度基礎研修ポイントの対象となります。

日本言語聴覚士協会

本学会への参加で生涯学習プログラムの基礎・専門ポイントの1ポイントが取得できます。

本学会への参加とは別途、一般演題の発表にて1ポイント加算されます。

日本認知症ケア学会

本学会への参加で専門士単位が3単位取得できます。さらに一般演題の発表にて1単位加算されます。

日本難病看護学会

本学会への参加で活動ポイントが付与されます。

学会参加……………5 ポイント

上記の学会参加点に下記が加算されます。

発表(筆頭者)……………+5 ポイント

発表(共同研究者)……………+1 ポイント

座長……………+2 ポイント

(医師向け)

日本神経学会、日本頭痛学会、日本認知症学会、日本医師会生涯教育制度(予定)

シンポジウム 21セッション予定 (タイトル仮)

1. 「脳梗塞急性期治療のパラダイムシフト」
2. 「脳卒中における治験とエビデンスの創出」
3. 「ぜひ知っておきたい神経感染症治療の動向と展望」
4. 「新規の自己免疫性脳炎・脳症;update 2021」
5. 「アルツハイマー病の早期診断バイオマーカーと疾患修飾薬の展望」
6. 「パーキンソン病の新しい治療戦略」
7. 「レヴィ小体病の病態と治療:update 2021」
8. 「運動ニューロン疾患の新規治療とエビデンス」
9. 「非定型パーキンソニズムの臨床;update 2021」
10. 「多発性硬化症・視神経脊髄炎の治療トレンド最前線」
11. 「神経変性疾患の画像診断トピックス」
12. 「重症筋無力症に対する薬物療法の最前線」
13. 「難治性ニューロパチーの新規治療への展望」

14. 「神経疾患における睡眠障害とその対策」
15. 「新規抗てんかん薬の使い方-update 2021」
16. 「神経救急における脳神経内科医の役割」
17. 「神経・グリア ネットワーク障害と神経疾患」
18. 「遺伝子診療のホットトピックス」
19. 「神経筋疾患の核酸医薬による治療戦略の最前線」
20. 「難治性片頭痛の抗体医薬開発の最前線」
21. 「認知症の疾患修飾薬開発の最前線」

■ マラソンレクチャー 13セッション予定

■ 若手医師のための神経疾患専門研修コース2021

■ 共催セミナー

■ 関連研究会

体験実技セミナー「医師のための鍼灸体験講座」

演題登録

2021年3月2日(火)～4月26日(月) 正午(オンライン)

看護師・薬剤師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・義肢装具士・介護士・医療ソーシャルワーカー・臨床心理士・栄養士・臨床検査技師・診療放射線技師・臨床工学技士・ケアマネジャー・救急救命士・CRC・遺伝カウンセラー・認知症ケア専門士など

■ **募集内容** 募集するセッションは次の通りです。
公募演題(一般演題)

■ **応募要件** 発表者が神経治療学会員である必要はありません。
※ただし、発表に責任を持つ日本神経治療学会の会員が共同発表者である必要があります。

■ **発表形式** 「口演」または「ポスター」での発表。登録時に希望形式を選択してください。
発表形式は発表者の希望を優先しますが、演題数によってはプログラム編成の都合上、変更をお願いする場合がございます。あらかじめご了承ください。
最終的な決定はプログラム委員会にご一任ください。

本学術集会の開催形式は不確定ですが、2021年3月時点ではハイブリット開催を予定しています。
会場に参加できない場合は、オンラインによる発表あるいは発表データの閲覧を実施する予定です。

■ **学会賞** 一般演題を対象に査読により選考、表彰を行います。

メディカルスタッフ演題カテゴリー

1	看護・ケア(急性期・慢性期・訪問・在宅など)
2	薬物療法・薬剤管理・服薬指導
3	臨床治験実施支援
4	リハビリ・栄養(理学療法、作業療法、言語療法、嚥下療法、栄養管理など)
5	臨床検査(脳波、筋電図、生化学検査など)
6	放射線(放射線診断、放射線治療など)
7	遺伝検査、遺伝カウンセリング
8	医療安全・倫理
9	多職種連携・チーム医療
10	救命救急・災害対策
11	その他

演題応募は
こちらから



演題募集期間、抄録の作成要項、応募方法は学術集会ホームページをご覧ください。



学術集会事務局

三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
TEL:059-231-5107 FAX:059-231-5082

運営準備室

日本コンベンションサービス株式会社 中部支社
〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル6階
TEL:052-218-5822 FAX:052-218-5823 E-mail:jsnt39@convention.co.jp